

LAN リベラメンテの導入(1) —CTU/ルーター間への適用—

1. はじめに

インフラノイズからリベラメンテシリーズのアナログインターコネクトケーブル、デジタルケーブル、クロックケーブル及びスピーカケーブル、電源ケーブルに引き続き、リベラメンテシリーズの音楽録音再生専用ストレート LAN ケーブルが発売されましたので、早速入手して聴いてみることにしました。

2. LAN リベラメンテの仕様と試聴方法

LAN リベラメンテについては [Web 情報紹介【2016No.11】](#) で紹介したとおり、長さが 0.8m から 10.0m までの下記仕様のものがあります。

LAN-0.8 (0.8m) LAN-1.5 (1.5m) LAN-3.0 (3.0m)

LAN-6.0 (6.0m) LAN-10.0 (10.0m)

今回入手したものは LAN-0.8 (0.8m) と LAN-1.5 (1.5m) です。



試聴は主としてネットからのストリーミング再生で行いますが、LAN ケーブルは光モデムと CTU の間および CTU と無線ルーターの間に使用しています。LAN-0.8(0.8 m) は光モデムと CTU の間に、そして LAN-1.5 (1.5m) は CTU と無線ルーターの間に使用することを想定しています。現在、光モデムと CTU の間は NTT が設置したままのものが、CTU と無線ルーターの間には、[映像付き音源再生の高音質化\(11\)](#) で紹介した、ドイツの情報通信関係のメーカーのテレガートナー社が初めてオーディオグレード LAN ケーブルを手掛けたという [MFP8 GOLD](#) を使用しています。今回は、スペースシャトルにも使われたという、この高信頼性ケーブルと LAN-1.5 を交換してみることにしました。

3. LAN リベラメンテの試聴結果

テレガートナー社のオーディオグレード LAN ケーブル MFP8 GOLD に比べると

LAN-1.5 は音の肌理が細かくなり、弦のざらつき感が解消します。また、弦楽合奏の分離も良くなります。MFP8 GOLD でも以前より随分良くなったと感じていましたが、LAN-1.5 はそれを上回ってしまいました。

4. まとめ

テレガートナー社のオーディオグレードLAN ケーブルから LAN リバラメンテへの交換の効果を認めました。

以上